

整形外科で治療を受けられる患者さんへ

癌治療関連骨減少症に関する研究について

研究機関 千葉労災病院 整形外科
研究責任者 整形外科 部長 中島 文毅

このたび千葉ろうさい病院 整形外科では、癌治療（乳癌でのホルモン治療）に伴う骨減少症を生じている患者さんの診療情報を用いた研究を実施しております。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、患者さんのプライバシーの保護については法令等を遵守して研究を行います。あなたの試料・情報について、本研究への利用を望まれない場合には、担当医師にご連絡ください。

1. 研究の目的 及び 意義

この研究の目的は、癌治療に伴うホルモン治療で生じる骨減少症に対して骨粗鬆症治療を行うことで脆弱性骨折のリスクが減らせるかを明らかにすることです。脆弱性骨折は、立った状態からの転倒程度で生じる骨折で、その中でも脊椎椎体骨折や大腿骨近位部骨折は、寿命の短縮を生じるほどの影響を身体に与えます。癌治療の予後を改善するために取り組むホルモン治療は、骨減少を生じることが明らかになっており、この不利益を改善するため、骨粗鬆症の治療に積極的に取り組む必要が考えられますが、実際にどれくらいの骨折リスクが改善できるかを明らかにし、患者さんの骨粗鬆症治療継続をサポートし、健康寿命を維持する意義があります。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2019年6月～2025年2月の間に千葉ろうさい病院 整形外科において、乳癌でのホルモン治療中に骨粗鬆症の評価と治療を受けられた方を対象とします。

2) 研究実施期間

本研究の実施許可日 ～ 2026年3月31日

3) 研究方法

通常の診療経過で得られた検査データを匿名化し解析を行います。

4) 使用する試料・情報

◇ 研究に使用する試料
無し

◇ 研究に使用する情報
年齢、身長、体重、既往歴、家族歴、採血データ、骨塩定量の結果、治療に使用された薬剤を匿名化して個人の特定ができない形で使用します。

千葉ろうさい病院 整形外科
2025年7月25日作成

5) 試料・情報の保存

通常の診療用 PC 上での保存を行います。

6) 研究成果の取扱い

ご参加頂いた患者さんの個人情報がわからないようにした上で、第27回日本骨粗鬆症学会にて公表予定です。

7) 問い合わせ・連絡先

この研究についてご質問等ございましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、下記にお申し出ください。資料・情報の使用を断られても患者さんに不利益が生じることはありません。なお、研究参加拒否の申出が、既に解析を開始又は結果公表等の後となり、当該措置を講じることが困難な場合もございます。その際には、十分にご説明させていただきます。

千葉ろうさい病院 整形外科

研究担当医師 中島 文毅

連絡先（電話番号） 0436-74-1111（平日：9時～17時）

8) 外部への試料・情報の提供

保存された情報等は他の医学研究、医療政策の策定などへの利用を目的に提供されることがあります。